

2022年8月25日

神戸川の河川環境調査に関する専門家委員会 殿

中国電力株式会社

神戸川の河川環境調査に係る要望事項について

1. 当社は、モニタリングについて「対象物の状態を定期的に調査し継続監視すること」と認識のうえ、来島ダムからの常時毎秒 $2\text{ m}^3$ の環境放流および来島ダム湖の水質保全対策の影響を継続的に監視する取組について、2013年から今日まで継続してまいりました。こうしたことから、これまで実施してきた当社のモニタリング調査について、貴委員会において改めて確認していただき、その結果を踏まえて、調査内容をご検討いただきますようお願いいたします。
2. 当社は、上記1. のとおり、来島ダムから試験的増放流を含め2013年6月より常時毎秒 $2\text{ m}^3$ の環境放流を実施しており、現在に至るまでダム流入量が毎秒 $2\text{ m}^3$ を下回るような渇水時においても、ダム貯留水を利用し環境放流水を維持することを最優先として実施しております。この常時毎秒 $2\text{ m}^3$ の環境放流による来島ダム下流河川の環境改善状況について、貴委員会として専門的なお立場からのご評価を賜りますようお願いいたします。
3. 河川環境のシミュレーション等を行うにあたっては、河川環境の保全に加え再生可能エネルギー活用の観点を踏まえた調査・検討としていただきますようお願いいたします。また、その評価にあたっては、来島ダム下流に位置する国土交通省管理の志津見ダムを考慮するなど、河川全体での総合的な評価が必要と認識しています。
4. 調査の具体的議論の段階において、必要に応じてこれまで当社が実施してきたモニタリング調査データの提供等によりご協力させていただきます。

以 上